

## GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race2020 北海道シリーズ第2戦 報告書

大会名:北海道クラブマンカップレース

開催日:2020年8月2日

開催地:十勝スピードウェイ(北海道河西郡更別村字弘和477番地)

コース全長:3,405m

順位:予選:8位

グリッド:8位

決勝:3位

参加台数:14台

路面状況:予選・決勝:ドライ

タイム:予選:1'47"086

決勝:1'46"901

ドライバー:みなびよ

ゼッケン:18号

エントリー名:ADVICS桜織ヴィッツ



目標:全シリーズでポイント獲得(10位以内入賞!)北海道は表彰台(3位以内入賞)

### 【前日練習】

1本目は色々と考えていた走りを頭に入れて走っていましたが、タイヤ作りをしていたにもかかわらず、46秒台がバンバン出て、周りで速い方が走っていないのもあり、おそらくトップタイムでした。2本目は、ネッツ札幌竹山さんに出発前の不具合を治してもらいつつ、4輪新品パットに交換したため、10分くらい当たりをつけて慣らしながら、アタックを開始。又、止まらなくなったときのトラブルを避けるため、誰もいない場所でコースインしました。1本目の悪いところを治しながら走行しましたが、ここで疑問点が出てしまい、多分これかな?と思って走った走りが間違いで、タイムも伸びず47秒台でした。3本目は、このまま終わろうか迷いましたが、せっかく課題が出て来たので、確認も含めタイヤの溝がなく、タイムは期待できないけど、車のコントロールはできるので、課題と疑問点の復習をし、走行。見事改善することができました。

夜はいつものカニ大将へ、今年もよろしくお願ひ致します。



### 【予選前】

車検場でリアガラスに貼られていたステッカー類を剥がさないとNGと言われてしまい、車検が通らず。その場でスクレーパーで削りながらなんとか合格しました。ディーラーで買った時のステッカーすらだめだそうです。オフィシャルの方が一緒になって、剥がしてくれました。ありがとうございます。



### 【予選】

車検の最中にブリーフィングになり、車から離れてしまったため、無事合格したのかわからず、若干メンタルが不安定になり、力が入りすぎてしまい、さらにはグリップするタイヤで走ったため、昨日の動きができていないのかわからず、焦ってドツポにはまります。どんどん悪い走りになり悪循環、せっかく出来ているのに、焦りから自ら失敗をし



てタイムも出ず。最終ラップでは8位まで落ちてしまい過去最低順位になってしまいました。昨日の走りができればタイムもきっと戻ります。頑張ろうと思いつつ、下りに下がったためかなりへこんでいましたが、ピットにいたら、グッドイヤー賞を受賞とのことで、記念撮影を受けました。少し元気が出ました。ただでは帰りません、決勝は絶対トロフィーを持って帰ります。毎回十勝は4~6位が多く、表彰台に中々上がれなくてモヤモヤしている中、表彰台常連の橋本選手が引退したため、なにがなんでも3位に入りたいと思い挑みました。ポールポジションの赤堀選手に、隣に行くから待ってと挨拶をしてコースイン。400戦の記念撮影をしたのち、いよいよ決勝です。スタートから1周で3台は抜かず事と、いつも周りのブッシュにびびって引いてしまうため、絶対にアクセルを抜かないで、前に行くと言言して、いざグリッドへ！



### 【決勝】

スタートが決まり1コーナーまでに左2台(7位と5位)を抜かしつつ、インから飛び込むと違和感を感じると、目の前に本間選手(3位)と佐久間選手(2位)の車が少し横を向いています。スピンか？接触か？と思いましたが、アクセルは抜かず落ち着いてすり抜けます。ここで4位に浮上しましたが、後ろも抜けてきてまだまだ接近戦です。下地選手がコーナーでよろめき、不安定になっていて、ぬかすのを一瞬ためらったら離れてしま



ったので、ここはベタ潰けして、一瞬のスキをつくしかない。しかしあまり様子を見ると1~2位に離される。と、焦りましたが、予選で焦って怒られたのを思い出し、まだ11周もある。きっと隙はあると言い聞かせ追いかけます。なんとなく近づくコーナーを見つけたので、追突覚悟で思い切ってコーナーに入り、立ち上がりで追いつきしっかりとスリップを使い



抜かします。ここで3位に浮上。そうすると後ろが気になります。ストレートでスリップに入られベタ潰けされますが、並ばれないのでそこまで来れない？と判断し、落ち着いて自分のラインで走ります。後ろが左右に揺さぶってきましたが、追いつかれないので、焦らずミスをしたら抜かれると思い、気になるけど気にしない様に走ると、少しずつ離れます。4周くらい走行していると、スリップ圏外になったのか、ストレートでも距離が出来てきたので、少し安心しつつ、今度は前だけを見ます。決勝と思わず焦らず。練習・復習をしている様に走り、各コースの課題を喋りつつ、独り言を言いながら走ると、力が抜けて。ミスも全くしませんでした。結果3位でチェッカー、車内で喜びまくりました。

久しぶりの表彰台で、赤堀選手や阿部選手に会いました。隣に来れたでしょ？って笑いながらの表彰台は有言実行できて嬉しかったです。だめなところをメモに書き、常に読み上げて走った事、自分を信じて走った事、信じる走りが出来たのはアドバイザーからのアドバイスがあったからです。



昨年も茂木もメンタルの弱さから、順位を落としているので、久しぶりにたくさん順位をあげたねと喜んでくれてふと、たくさん順位あがった！？そうです、なんとジャンプアップ賞(決勝中一番順位を上げた選手)まで受賞しました。まさかのトリプル受賞。予選が悪かったのは悔やみますが、もしかしたら予選上位にいたら、接触到巻き込まれたり、順位を落としていたかもしれません。しかし下位にいたら本来表彰台は狙えません。でも絶対に3位に入り、昔からここ十勝で走っているから絶対に負けたくない。常連の1人が抜けたその場所は自分だ。という気持ちが繋がり結果につながったと思います。こんなパーフェクトなレースは2度とないと思いますし、凄く嬉しいです。皆さんの応援やご協力のおかげです。応援のメールも沢山いただき、お守りなどのおかげです。北海道で



も1人じゃないと思えました。本当にありがとうございます。次回は表彰台常連になれる様に、上位を目指して頑張ります。

最近の走りや走る考えなどをしっかりと確認し、成長をしていると褒められましたので、それを全てのサーキットでもできる様になり安定した走りが出来、ここぞの時に出来る様に頑張ります。

最後になりましたが、いつも支援して頂いております、株式会社アドヴィックス様、ふじよしだ振興財団様、SRファクトリー様、ネットヨタ愛知様、ペトロテック有限会社様、リキテック様、R'S DESIGN様、菱木レーシング様、タイマー様、オートモデラーズカフェ様、クリスタルボディ横浜様、T. M. WORKS様、株式会社シロマ様、LoveDrive様、EMCエンジニアリング様、有限会社アールエーシー様、熱中対策水様、現地、地元で応援して頂いた皆様、本当にありがとうございました。引き続き応援・ご指導・ご協力宜しくお願い致します。

